令和３年度　第２回羽島市立竹鼻中学校運営協議会　議事録		
１	日時	令和３年１１月２６日（金）　午後１時３０分～３時３０分
２	場所	羽島市立竹鼻中学校　会議室　（北舎１階）
３	出席者	１２名／１９名 安田　寛治（福寿町自治会長） 牧野　貞臣（竹鼻コミュニティセンター館長） 田中安志郎（福寿コミュニティセンター館長） 髙木　和秋（竹鼻南コミュニティセンター館長） 中畑　　弘（竹鼻コミュニティセンター協議会長） 松下　友幸（竹鼻中学校運営協議会会長　地域コーディネーター竹鼻町　） 岩佐　和子（福寿町主任児童委員） 後藤周太郎（羽島高等学校長） 水谷　宏明（竹鼻中ＰＴＡ会長） 増田　恭司（羽島市教育委員会支援センター） 森山　健　（本校　校長） 杉山　正高（本校　教頭）
４	議事	１．会長挨拶 ・竹鼻中学校区の児童生徒への支援に対して感謝の言葉。 ・今後も竹鼻中学校の教育活動の充実のために、ご意見やご感想を聞かせていただきたい。 ２．学校長挨拶 ３．現在の学校運営について（校長） ・学校生活における服装等の校則の変更について ・教科担任の変更について ・部活動のクラブ化についての現状報告 ・教育委員会表彰について ・今年度の校内整備について ４．授業参観 ５．現在の生徒指導全般についての報告（教頭） ６．竹鼻中校区小中一貫教育の推進について（教頭） ７．学校評価について（教頭） ８．意見交流 ・授業でロイロノートを自然に活用して個の学びへとつないでいる。 ・休日・祝日の民間委託（総合型スポーツクラブ）へ移行するための準備についての質問。 ・今年度もコロナ禍に伴って、地域行事への生徒の参加に制限があった。来年度からの協働に期待している。 ・授業参観を見て、先生方への頑張りに感謝している。愛知県の悲しい事件から、地域のつながりの大切さを改めて感じた。 ・中学校３年生は、一生の友になる。仲間づくりを大切にしてほしい。 ・今年度は、交通事故が多発している。特に自転車事故が多くなっている。生徒への指導をお願いしたい。 ・地域で子どもの見守隊を行っているが、竹鼻中学校の生徒が気持ちよく挨拶をしてくれる。 ・授業参観をして、１年生の生徒の反応から、「見方・考え方」が育っていることが分かり、感心した。 ・不登校生徒の増加には対策をお願いしたい。現在はどのような対策をしているのか？

		→・昔のような、仲間へプレッシャーをあたえるような事は減っている。現在の不登校傾向を示す子どもは、原因が多様化している。コロナ禍によって、生活のリズムが崩れていることも要因として捉えている。教育相談の充実を図り、保護者と連携をしながら、丁寧な対応をしている。今後も、関係機関と連携を図りながら、個に応じた丁寧な対応を行っていく。 ・ＩＣＴの活用については、授業参観を通してよくやっていることが分かった。今後の授業では、「見方・考え方を深めるために」その授業では、ＩＣＴ機器が本当に必要なのかを吟味して、授業を仕組んでいく必要がある。授業の深まりに期待したい。 ・ＰＴＡ活動に対して、協力的であり感謝している。愛知県の悲惨な事件や昨今の社会情勢から、生徒のメンタルケアをお願いしたい。 ・子どもたちが安定している。昼休みのボランティアなど、自分たちの手で生活をよりよくしていこうとする姿勢を育てていただいていることに感謝している。今後も「竹鼻の文化」として竹鼻中のよさをさらに伸ばしていってほしい。
5	連絡等	○次回　第３回竹鼻中学校学校運営協議会　３月９日（水）
6	教育委員会指導	・改めて地域と学校が育てていることを実感した。 ・現在の竹鼻中の生徒の姿から、竹鼻中生としての誇りが感じられる。 ・防災教育や校則の見直しなど、安全面の充実、心の安心への配慮が図られていることが素晴らしい。ＬＧＢＴ等の個別の対応など、学校の体制として変化したことが、誰もが安心して生活できる環境につながっている。 ・クラブ化については、全国的にも注目をされている。子どもがクラブ化の前後で特に変化がないことを目指して準備も進めてきた。保護者や生徒のニーズが充実するようにはしまなごみスポーツクラブ、保護者、学校が取り組んでほしい。 ・竹鼻学園として、小中一貫教育に期待をしている。９年間を通して、社会に出るためには、どんな力をつけるとよいのかを明確にして、発達段階に応じた指導の充実を図ってほしい。
7	会長挨拶	・竹鼻中の生徒が安定していること、学校や地域も生徒を大切にして教育活動が行われていることに感謝したい。 ・竹鼻中学校の文化を創造してくために、今後も学校運営協議会の取り組みにご協力をお願いしたい。